

31 神鍋山の草原

ランク：B

生態系区分
草原

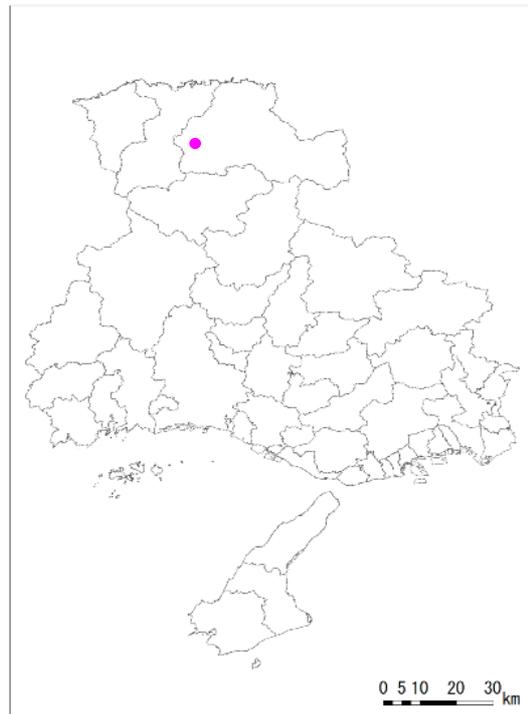
区分レベル
中

市町名
豊岡市日高町

場所
-

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度
-

概要

神鍋山のスキー場ゲレンデにひろがるススキ草原。かつて栗栖野地区と太田地区のカヤ場であったが、そこを利用して大正年間にスキー場が開設された。現在でも、カヤ場として利用されていたところと同様の植生管理（秋の刈り取り、春の火入れ）が地域住民によっておこなわれている。キキョウ、スズサイコ、ヒキヨモゴを始めとする多様な草原生植物が生育している。ゲレンデの一部は造成されたり、外来種が植栽されたりしているが、大部分はもとの草原を維持している。クロシジミ、キマダラルリツバメ、ゼフィルス類など、昆虫類の希少種が生息する。



写真提供：澤田佳宏